

12月議会 議案

市街地液状化対策事業

計画の検討を終了

工事計画決定は6地区471戸!

場所	宅地数	1戸当たり負担額	工事面積	契約金額
東野3丁目 30番・31番地先	33	196万円	7,950㎡	9億8690万 4000円
舞浜3丁目(その3) 1・3・5・6 15・16・17・24・ 25・36番地先	168	185万円	40,780㎡	42億8565万 6000円
舞浜3丁目(その4) 26・31・32番地先	48	185万円	12,280㎡	11億2212万

液状化対策事業 さらに3地区で

復興交付金を活用した戸建て住宅の液状化対策工事は、新たに左表の3地区249戸が追加されます。
すでに議決されている3地区に加えて、工事計画に合意した地区は、合計6地区471戸となりました。工事計画案の策定には4103戸が合意したものです。

先月29日から始まった12月議会に上程された議案の中から、主なものを紹介します。

自転車駐車場の利用料金は市の収入としてきましたが、平成28年3月議会で、指定管理者の収入として收受させる条例改正に市議会が合意(日本共産党は反対)。
これまでの市の利用料収入額は年間約3億5千万円でした。

施設名	指定管理者	指定期間 申請者数
国際センター	公益社団法人 青年海外協力協会	平成29年度から5か年 1事業者のみ
富岡地域包括 支援センター	社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会	平成29年度から5か年 2事業者
墓地公園	公益財団法人 浦安市施設利用振興公社	平成29年度から5か年 3事業者
自転車駐車場	公益財団法人 浦安市施設利用振興公社	平成29年度から5か年 3事業者
浦安 音楽ホール	株式会社 コンベンションリンケージ	平成29年度から5か年 3事業者
旧大塚家 旧宇田川家	公益財団法人 浦安市施設利用振興公社	平成29年度から5か年 1事業者

公共施設の 指定管理者の指定

の工事計画の決定までに至ったのは471戸(約11.5%)です。
6地区すべてで工事が完了するのは、29年度末の予定です。
また、浦安市は当該市街地液状化対策事業について、今後の検討は行わないとしています。

週刊

市議会報告

日本共産党

2016年12月5日

第1395号

【発行】

日本共産党
浦安市議団

☎ & F A X

350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船4-37-14

☎355-8526

minamotonton@

jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄2-3-16-203

☎354-9269

m5mise@jcom.

home.ne.jp



カジノ解禁 推進法案に反対を



地方議会は住民の要望や意見を文書にして取りまとめ、議会
の意思として国会や関係行政庁に提出することができます。
日本共産党は、議会ごとに他会派議員に事前に意見書案文を届
けて、共同提出を働きかけ、市民の願いを国などの政策に反映さ
せるよう努めています。
12月議会で提出を予定している意見書は「カジノ解禁推進法に
反対する意見書」です。

カジノ法案の強行

カジノ解禁推進法案が今月2日、
衆院内閣委員会で自民、日本維新の
会などの賛成多数で可決・強行され
ました。国民の間に広がる疑問や不
安を置き去りにして、わずか2日間
の審議による強引な採決です。
なにがなんでも延長した国会で押
し通す構えです。

地域経済が 活性化する？

同法案は自民・維新などの議員提
案です。法案提出者の細田博之自民
党総務会長は、カジノを中核とする
統合型リゾート（IR）を国内に設
置することは、「国際観光振興、地域
振興、税収に資する」と述べました。
カジノを解禁すれば、海外から日本
を訪れる観光客が増え、にぎわうこ
とで地域の経済が活性化し、税収も
増えると「バラ色の未来」を描きま
す。

ギャンブル依存は 深刻化

しかし、カジノは最も刺激的で、人
をめり込ませる「毒」を持つとばく
場です。反社会的勢力の介入、多重
債務問題の再発、青少年への影響な
ど、大きな弊害は枚挙にいとまがあ
りません。とりわけ深刻なのはギヤ
ンブル依存症です。パチンコは成人
人口の約5%、536万人の患者が
いて、日本は世界最大のギャンブル
依存症大国になっています。

収益を依存症 対策に充てる？！

国会審議で法案提出者は「カジノ
には厳格な規制を加える」「カジノの
収益を依存症対策に充てる」などと
答えました。しかし「カジノをどう
規制するのか、どのような依存症対
策を行うのかなど具体的な問題は、
同法施行後1年以内に政府の責任で
策定させる「実税法」の段階に丸投
げです。

国民を 愚弄している！

カジノ法案をめぐる暴走は、審議
に時間をかけて国民の関心が集ま
り、反対世論がさらに高まる前に「カ
ジノ解禁」の結論だけを「先食い」
しようという、あまりにも国民を愚
弄（ぐるう）したものです。

同法案は、自民党と旧維新の会な
どが昨年の通常国会に共同提出し継
続案件となっていたものです。カジ
ノ議連（国際観光産業振興議員連盟）
の岩屋毅幹事長は「これ以上遅れれ
ば内外の機運がしぼんでしまう」と
述べました。日本に作られるカジノ
市場への参入を狙う米国などのカジ
ノ資本、その「おこぼれ」を求める
財界、一部のカジノ誘致地方自治体
などの突き上げを受けた推進派によ
る、どさくさまぎれのカジノ合法化
の暴走をは許してなりません。
発議案の審議は最終日の16日に
行われる予定です。